

松永健哉 まつなが けんざ 小説家、教育評論家。明治四十年八月十一日京城生
れ。平成八年没（一九七二）。筆名マツナガケンヤ、延山（のりやま）、延
山潔等。昭和九年東京帝國大學文學部教育學科卒。教職を経て、十一
年白倉校外教育研究所設立、翌年日本教育執筆会加盟を組織。十二年
南支那派遣軍報道部に勤務し、執筆生活による官廳活動に従事。戦後は
名古屋産保健衛生大學教授など。

著書 『南支 戦線教育従軍記』（昭和十五年二月二十五日昭和書房）、『民
族の母』（昭和十六年二月二十五日四季書房）、『海の曙』（昭和十
六年七月二十五日第一弘論社）、『長崎文化物語』（合著・長崎文化會
一編田清
本山桂川編、昭和十七年十一月二十五日弘書房）、『戦線點描』出
征將兵作品集』（合著・日本電報通信社編、昭和十七年四月一日日本
電報通信社出版部）、『青春の戎衣』（昭和十七年八月二十五日帝教書
房）、『教育執筆会講座』（増訂版）』（五版・昭和十八年五月二十五日、
六版・十一月二十五日元字館）、『シンギスカン』（マツナガケンヤ
名、ヤマブチシヤウキチラウ（エ）、昭和十九年五月五日大日本雄辯會
講談社）等。